

---

# 告白

時又玲奈

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

告白

### 【Nコード】

N22770

### 【作者名】

時又玲奈

### 【あらすじ】

恋をしました。

暖かくて、くすぐったくて、柔らかな気持ち。

今、私はあなたへの想いをこの手紙に綴り、あなたに届けます…。

あなたへの想いを綴った手紙。今、その手紙があなたの手へと渡る。

## （前書き）

題名のとおり、本当に告白です！  
なので、グダグダ感満載でしょうが、最後までお付き合いください。

恋をしました。

暖かくて、くすぐったくて、柔らかな想い。

今、私はあなたへの想いをこの手紙へと綴り、あなたに届けます  
…。

あなたは、本当に純粋で、鈍感で、きっと私の想いには気付いて  
いなかったのでしょうか？

どれだけ思わせぶりの言葉を言っても、顔色を変えなかったのだ  
から。

私が、どれだけの想いを抱えているかなんて、  
そんなこと、ちっとも分かってくれなくて。

私は、幾度となく溜め息をつきました。

それなのに、あなたは真っ直ぐに私に駆け寄ってきて、私の心を  
揺さぶって。

私がこの想いを隠すのにどれだけ苦労したか、分かるでしょうか？

私は、誰かを想ってはいけない……。

そう心に刻み込んで、私はこの想いを押し殺したのです。

昔、私には想う人がいました。

ずっと、ずっと想い続ける人が。

でも、その人に私は多大な迷惑をかけてしまった。

私がその人を想うが故に。

だから、私がこの想いに気付いた時、真っ先に破り去ろうとしたのです。

このままでは、あなたにまで迷惑をかけてしまう。

そんな警告が頭によぎったから。

想っているからこそ、あなたを優先したい。

きつと、そう言ってもあなたは、私を優先してくれるのでしょうか。

そんなところが、私はどうしようもなく好きなのです。

好きで好きでたまらなくて、でも、そんな想いは消さなければならなくて。

私は微笑みながら涙を流したのです。

今の関係を、悪化させたくない。

だから、私はあなたに意地悪をして、自分の気持ちを偽りました。

でも、もう、想いが溢れてしまつて、どうにもならなくなつてしまいました。

あの日、あなたがあんな事を言うから・・・。

「覚悟もまだ出来てなくて、生半可な俺だけど、こんな俺でも、好きになつていいですか？」

あなたが好きと言つてくれたから、好きになつてもよいかと言つてくれたから、

私は留めていた想いを、解放することにしたのです。

あなたが私への想いを、戸惑いながらも言つてくれた。  
答えを、出してくれた。

どれだけ嬉しかったか、きつとあなたには分からない。

好きで、好きで、好きで、好きで。  
どうしようもなくあなたを求めて。

それでも、私達の間にある距離は遠すぎて、  
私とあなたは会うことが出来なくて。

こんなにも近くにいる気がするのに、私はどれだけ手を伸ばしても、あなたに触れられない。

声を聞くことが出来るのに、私はあなたの姿を見ることが出来ない。

それがまた、切なかった。

それでも、あなたは私を想ってくれた。  
幸せにすると、信じろと、そう言って。

だから、私もまた、あなたを想います。

「永久に、私はあなただけを想い続けます。  
大好きです。どうしようもなく、あなたを愛しています」

この手紙があなたの元に届いている頃には、私の想いはさらに大きくなっている事でしょう。

でも、手紙に書くには私の想いは大きすぎて、  
全てを書き綴る事ができません。

だから、会いに来て下さい。

ここで、いつまでも待つてゐるから。  
想いを受け取りに、私の元に来て。

その時は、思いっきり抱きしめてほしい。

あなたに触れられる喜びを感じてもいいですか？

拝啓

世界でただ一人の愛しい人へ……………



(後書き)

あゝ、ぐだぐだになった( T T )

こういうリアルな想いつて書いた事なかったので、やっぱり難しいですね・・・。

この想いに同感してくださった人がいれば光栄です!!!

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2277o/>

---

告白

2010年10月10日11時58分発行